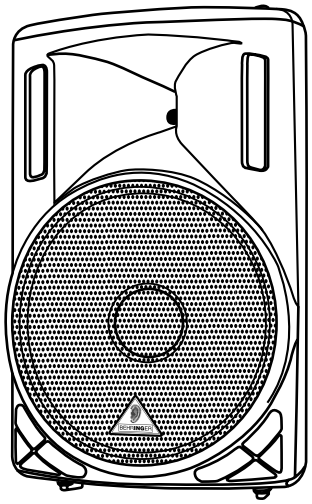
取扱説明書



EUROLIVE B212XL/B215XL

800 / 1000ワット2方向PAスピーカーシステム（12" / 15"ウーファおよび1.75"チタン圧縮ドライバ付き）

ありがとう

ベリンガー EUROLIVE B212XL/B215XL をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。この極度にコンパクトなマイクロホンボックスは専門的に使用の為に開発され、必ずミニチュアの区域に 置されます。小さなサイズと軽い特性により、マイクロホンボックスが簡単に壁に取り付けられる可能性があり、これはこの製品の一番の特性：適応性です。このマイクロホンボックスはアームにより専業のマイクロホンと繋ぎ、それで貴方の設定をいつでも自行的に拡張できます。これらの機能を搭載する高性能スピーカーを、信頼できるパートナーとしてご活用ください。

目次

ありがとう 1
安全にお使いいただくために 2
1. ご使用の前に 3
2. サービスメニューと接続 3
3. 最適な操作 3
4. さらに注意すべきこと 4
5. 使用例 4
6. インストール 6
7. テクニカルデータ 6
免責条項 7

本取扱説明書は英語、ドイツ語、フランス語、スペイン語、イタリア語、ロシア語、ポーランド語、オランダ語、フィンランド語、スウェーデン語、デンマーク語、ポルトガル語、ギリシャ語、日本語、中国語でご用意しています。尚、本文書の改訂版がある場合もあります。該当製品を

www.behringer.com

で調べ、ダウンロードしてください。

A50-A0R30-23002

日本国

安全にお使いいただくために

注意

感電の恐れがありますので、カバーやその他の部品を取り外したり、開けたりしないでください。製品内部には手を触れず、故障の際は当社指定のサービス技術者にお問い合わせください。

注意

火事および感電の危険を防ぐため、本装置を水分や湿気のあるところには設置しないで下さい。装置には決して水分がかからないように注意し、花瓶など水分を含んだものは、装置の上には置かないようにしてください。

注意

このマークが表示されている箇所には、内部に高圧電流がじています。手を触れると感電の恐れがあります。

注意

取り扱いとお手入れの方法についての重要な説明が付属の取扱説明書に記載されています。ご使用の前に良くお読みください。

注意

1. 取扱説明書をしてご覧ください。
2. 取扱説明書を大切に保管してください。
3. 警告に従ってください。
4. 指示に従ってください。
5. 本機を水の近くで使用しないでください。
6. お手入れの際は常に乾燥した布巾を使ってください。
7. 本機は、取扱説明書の指示に従い、適切な換気を妨げない場所に設置してください。
8. 本機は、電気ヒーターや温風機器、ストーブ、調理台やアンプといった熱源から離して設置してください。
9. 付属品は本機製造元が指定したもののみをお使いください。
10. カート、スタンド、三脚、ブラケット、テーブルなどは、本機製造元が指定したもの、もしくは本機の付属品となるもののみをお使いください。カートを使用しての運搬の際は、器具の落下による怪我に十分ご注意ください。
11. 電源コードまたはプラグが損傷した場合、本気内部に異物や水が入った場合、雨や水分で濡れた場合、本機が正しく作動しない場合、もしくは本機を落下させてしまった場合は、当社指定のサービス技術者に修理をご依頼ください。

12. ボックスを設置する前に床がボックスの重さに耐えられるかどうかを必ず確認してください。ステージ構造物等の振動しやすい床 はボックスの積み重ねの際に不安定な場合があります。ボックスは必ず、平坦かつ丈夫な土台の上に設置してください。

WARNING

THIS EQUIPMENT IS CAPABLE OF DELIVERING SOUND PRESSURE LEVELS IN EXCESS OF 90 dB, WHICH MAY CAUSE PERMANENT HEARING DAMAGE.

1. ご使用の前に

1.1 出荷

- B212XL/B215XL は、安全な輸送のために工場出荷時に十分な注意を払って梱包されていますが、万が一包装ダンボールに損傷が見られた場合には、装置外 部の損傷もご確認ください。
- 装置が万一損傷している場合には、保証請求権が無効となる恐れがありますので、製品を当社へ直接返送せず、必ず販売代理店および運送会社へご連絡下さい。
- 本製品の保管や運送の際には、製品への損傷を避けるため、常にオリジナルの梱包を使用するようにしてください。
- 製品および梱包材などは、お子様の手の届かないところに保管してください。
- 梱包材などの環境保護に適した廃棄を心がけてください

1.2 スタートアップ

お持ちの EUROLIVE は、リヤサイドにあるラウドスピーカーのソケット上で出力アンプと接続されます。重要な技術上の指示と実践的なヒントが記されている第4章「さらに注意すべきこと」および第5章「適用例」をお読みください。

- スピーカーは大きな音 が出るように設計されています。音圧が高いと耳の疲れを早めるだけでなく、聴力に悪い影響を与えるおそれがあります。適度な音 でお使いください。

2. サービスメニューと接続

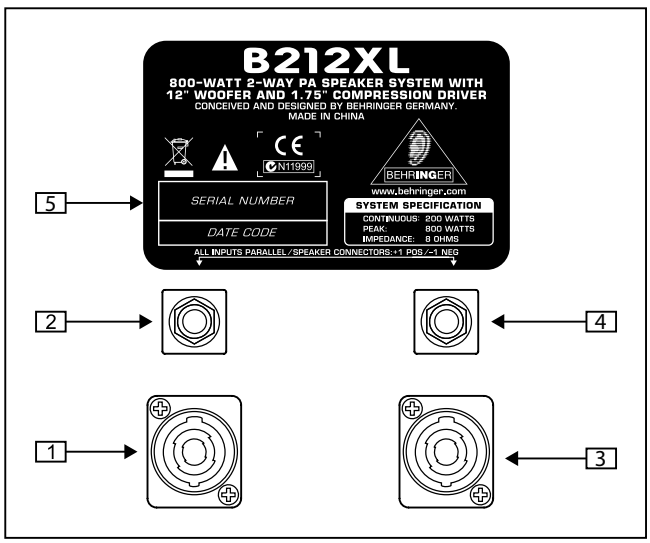


図 2.1: サービスメニューと接続 (B212XL と B215XL)

1 B212XL/B215XLは並行に配線された2つのプロフェッショナルスピーカーシステムを採用しています。

2 これは対称の 6,3-mm-アームの入力部分です。

- 入力部分或いはアームの入力部分だけをお使いになりますようお願いいたします。同時に2種の入力部分を使わないようにしてください！

3 これは出力部分です。B212XL/B215XL 入力部分と連接しそして変化が無い入力信号を使います。そのため、信号を他の機器の入力 (2台目のB212XL/B215XLなど) に送ることができます。

4 これは 6,3-mm-アームの出力部分です。これは直接に B212XL/B215XL 入力部分と接続しそして変化が無い入力信号を使います。

5 シリアルナンバー

3. 最適な操作

EUROLIVE B212XL/B215XL シリーズ は、様々な領域で適用できるように開発されています。もちろん、ラウドスピーカーボックスの響きは、それぞれの環境の音響効 にほぼ依存します。しかしながら、以下の点は、お持ちの EUROLIVE を最大限引き出すために2、3のヒントとなることでしょう。

3.1 高音

高周波数は、明白さや言語理解に配慮したオーディオスペクトルの一部です。この周波数は、確かに最速で測定できますが、同時にとても簡単に妨害もされます。それゆえ、お持ちのボックスを高音が聴衆の耳の高さで放射されるように調節することをお薦めします。これは、高い周波数の最高の拡張と本質的により高い理解を保証してくれます。

3.2 リヤのカップリングをどのように避けるのか

ホールから考察するなら「表へ」のボックスを常にマイクの後ではなく、マイクの前に置いてください。俳優が舞台で自分の声を聞くことができるようにするには、プロフェッショナルフロアーモニター またはインイヤーモニタリングシステムを使用してください。

3.3 レコードプレーヤーを操作する場合 (DJにおける適用)、どのようにしてリヤのカップリングを防止するのか

レコードプレーヤーと共に適用すると、バスのリヤカップリングが生じることがあります。つまり、低い周波数がトーンアームに逆に到達して、新たにラウドスピーカーから転送される場合です。これの一番の原因は、以下の りです: レコードプレーヤーにくっつけて立てられたラウドスピーカー、土台が木材の空間、または、無艚ﾌ要素の投入。これらの場合、ラウドスピーカーボックスが固い土台に置かれるようにレコードプレーヤーから離したり、無艚ｶら「追い払う」ことが最もよいことです。他の可能性としては、直接地 に触れないようにするために、やぐらを投入することです。

3.4 ローカットフィルターによるラウドスピーカーの保護

お持ちのラウドスピーカーが、低音の振動版を大きく動かすことにより、踏み板の響きとか低周波数のおかげで損害を被らないようにしてください。バス信号をラウドスピーカーの周波数の動きの下で切断するためにイコライザーを使用するか、または、ローカットないしハイパスフィルターを使用してください。多くのイコライザーや音響改良システムは、ローカット機能を提供します。例えば、BEHRINGER ULTRAGRAPH DIGITAL DEQ1024。

特に、レコードプレーヤーやCDプレーヤーが音の源として組み込まれる場合は、信号パスにローカットフィルターを使用するようにお薦めします。CD プレーヤーは、しばしば低音の振動板を大きく動かすことになる極端に低い周波数を出力します。

4. さらに注意すべきこと

4.1 ラウドスピーカーの長さと断

とても小さい断片のラウドスピーカーケーブルは、最終出力をかなり制限することができます。ケーブルが長ければ長いほど、問題は大きくなります。結 的に、しばしば最後にスイッチが入れられます。すると、ラウドスピーカーが再び損害を被ることになります。15 m 以上の長さのケーブルを使用しないでください。多くのアプリケーションでこれも不要となります。ケーブルの断 は、最低 2.5mm から 4.0 mm² とするべきです。

4.2 最終出力

正しい最終出力の選択は、かなり難しいということが分かります。それゆえ、単純に次のような大まかな規則に向かってください: 最終出力は、例えば二倍となり、ラウドスピーカーに負担をかけます。継続負荷が200 ワットと記載されたラウドスピーカーは、例えば、最終出力に関する問題もなく 400ワットの出力で操作することができます。お持ちのラウドスピーカーに対する最適の補足は、例えば、BEHRINGER EUROPOWER EP2000でしょう。

4.3 ヒューズ

オーディオアプリケーションにおけるヒューズの使用について忠告します。ラウドスピーカーの損害は、高い信号速度や高い出力によって起こることが>あります。しかし、ヒューズがあれば、これらの要因のうち一つに対してだけは守られます。両方の要因から守られることはありません。さらに、ヒューズの抵抗は非線的となることがあり、閂をかけたり予見でできないオーバーステアリングとなります。

4.3.1 装置を保護するために

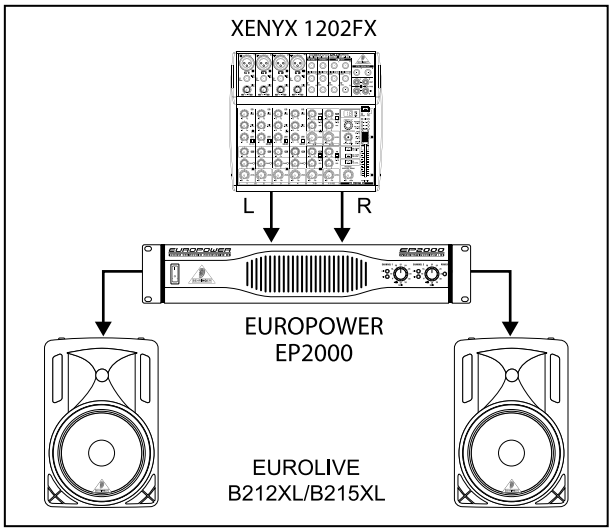
- オーディオ信号を最適に操作してください。お持ちのアンプのオーバーステアリングは避けてください。
- パワーアンプの物理制限を顧慮してください。
- 出力レベルを制限するためにリミッターを使用してください。ミキサーの出力と端末アンプ間でリミッターのスイッチを切り替えてください。それには、例えば、弊社製の定評あるコンプレッサー BEHRINGER AUTOCOM PRO-XL MDX1600、COMPOSER PRO-XL MDX2600 そして MULTICOM PRO-XL MDX4600が適しています。すべてのモデルは、リミッターとして操作されます: オーディオ信号はもはやオーバーステアリングしなくなり、不快な「ピーク」は効 的に避けられます。

◊ **弊社の周波数ポイント ULTRADRIVE PRO DCX2496 または SUPER-X CX3400/CX2310 は、装置を保護するために大変適しています: それぞれの出力のために独立したリミッターを持っています。**

5. 使用例

5.1 フルレンジ・ステレオ機器

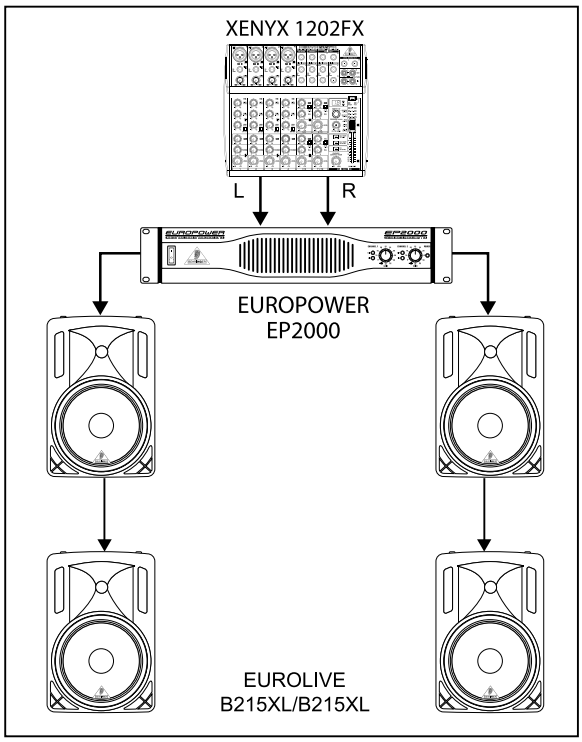
下記の例はミックスコントローラのステレオ出力とステレオ端末機器の入力と接続する。端末機器のすべての出力は全波長をプレイできる B212XL あるいは B215XL と接続する。



ﾍｼﾆｬ5.1: フルレンジ・ステレオ機器

5.2 複数の B212XL/B215XL の使用

広い場所でご使用になる場合などは、複数の B212XL/B215XL を LINK OUTPUT 接続で [3] 連結することができます。



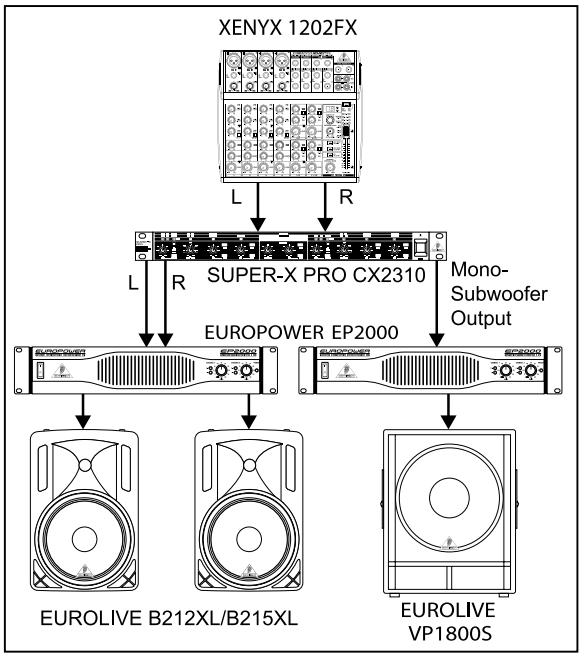
挿絵5.2:複数の B212XL/B215XL のケーブルプラグ

5.3 は超低音ユニットがあるステレオの運行です。

この使用方式により、あるミキサーのステレオの主な出力信号がある周波プレセレクタの手伝いによりステレオ信号と音素信号と分離されます。ここに音素信号は低音区域をカバーしそしてステレオ信号は全てのそれ以上に周波範囲に達します。

ステレオ信号がステレオ端末段階に接続され、その出力部分にそれぞれの B212XL/B215XL 部品が接続されます。

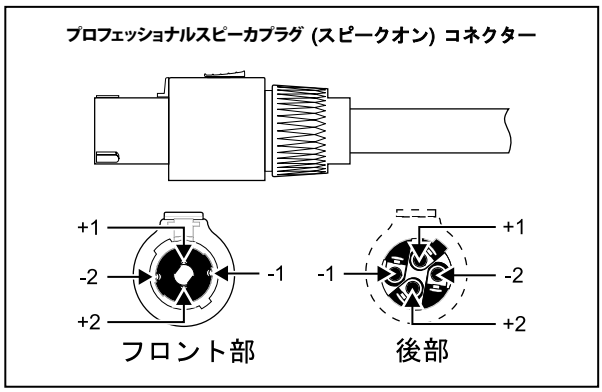
単一の超低音信号がもう一つの端末段階の 路に接続され、この 路により 18 インチに超低音ユニットを提出します。



挿絵5.3:超低音ユニットがあるステレオの運行です。

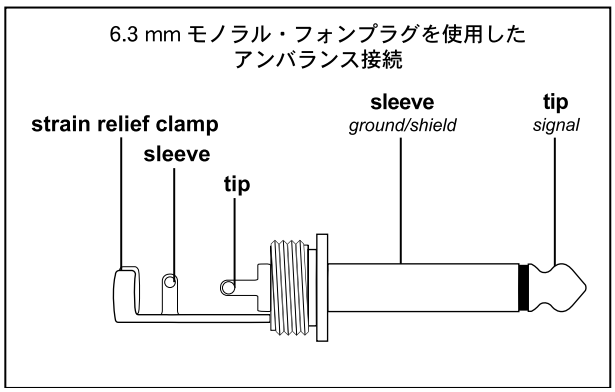
6. インストール

EUROLIVE B212XL/B215XL シリーズ は、問題のない運転を保証するプロフェッショナルラウドスピーカーの接続を自由に処うことができます。コネクタは、高い電力定格を持つスピーカー向けに開発されました。プラグがコンセントに差し込まれると、閂がかけられ誤って取り外せないようになります。電気ショックから守ってくれて、正しい電極への接続を保証してくれます。個々のジャックは、専ら割り当てられた一つ一つの信号を処理します。



挿絵6.1:プロフェッショナルスピーカプラグ

市販されているケーブルのみを使用してスピーカーをパワーアンプに接続してください。ラウドスピーカーボックスおよびケーブルのピンの 置をお持ちの装置のラウドスピーカー出力関連づけながら検証してください。



ﾍｼﾆｬ 6.2: 6.3-mm モノクロアンプソケット

7. テクニカルデータ

システムデータ

高性能低音	
B212XL:	12" (305 mm)
B215XL:	15" (381 mm)
高音用スピーカー	
B212XL と B215XL:	1.75" (44 mm)
周波範囲	
B212XL:	65 Hz から18 kHzまで
B215XL:	55 Hz から20 kHzまで
定額パワー(ピーク値)	
B212XL:	800 W
B215XL:	1000 W
インピーダンス	
B212XL と B215XL:	8 W
感度 (1 W @ 1 m)	
B212XL:	95 dB (点在)
B212XL:	96 dB (点在)
分散	
B212XL:	90− x 60−
B215XL:	70− x 40−
隣接周波	
B212XL:	1.9 kHz
B215XL:	2.0 kHz

サイズ・重さ

サイズ(HxWxD)	
B212XL:	21 ⅔" x 13 ⅝" x 10 ⅝" ぐらい (550 mm x 345 mm x 270 mmぐらい)
B215XL:	27 ⅓" x 17 ⅓" x 13 ⅛" ぐらい (695 mm x 440 mm x 335 mmぐらい)
重さ	
B212XL:	23.2ポンドぐらい (10,9 kgぐらい)
B215XL:	39.7ポンドぐらい (17,6 kgぐらい)

BEHRINGER 社は、最高品質水準の維持にむけた努力を常時おこなっています。必要とみなされた改良等は予告なくおこなわれますので、技術データおよび製品の 真が実物と多少相違することがあります。

免責条項

テクニカルデータや製品の外観は予告なしに変更される場合があります。ここに記載された情報は、印刷時のものです。BEHRINGER 社は、ここに含まれたすべて、もしくは一部の記述、画像および声明を基にお客様が起こした行動によって生じたいかなる損害・不利益等に関しても一切の責任を負いません。色およびスペックが製品と微妙に異なる場合があります。製品の販売は、当社の正規代理店のみが行っています。製品のディストリビューター(配給元)およびディーラー(販売業者)は、BEHRINGER の特約代理店ではなく、これらは明示・暗示を問わずあらゆる行動および表現によって BEHRINGER を拘束する権限を一切有しません。この説明書は、著作権保護されています。本取扱説明書に記載された情報内容は、BEHRINGER InternationalGmbH からの書面による事前の許諾がない限り、いかなる利用者もこれを複製、使用、変更、送信、頒布、入れ替え、工作することは禁じられています。

複製権所有 / ALL RIGHTS RESERVED. © 2009 BEHRINGER International GmbH,

Hanns-Martin-Schleyer-Str. 36-3847877 Willich, Germany
Tel. +49 2154 9206 0, Fax +49 2154 9206 4903

本取扱説明書は英語、ドイツ語、フランス語、スペイン語、イタリア語、ロシア語、ポーランド語、オランダ語、フィンランド語、スウェーデン語、デンマーク語、ポルトガル語、ギリシャ語、日本語、中国語でご用意しています。尚、本文書の改訂版がある場合もあります。該当製品を

www.behringer.com

で調べ、ダウンロードしてください。